

目次

特集 検査室のご紹介

お知らせ

- ▶ 患者さんの権利と責務について
- ▶ 看護週間行事を開催しました。
- ▶ がん医療センター「市民公開講座」を開催しました。
- ▶ ボランティアコンサートのお知らせ

院長のこトバ ～地域医療研修センターのご紹介～



当院は福井県における唯一の県立総合病院です。多くの政策医療（三次救急医療、周産期医療、小児医療、身体合併症を有する精神科医療や精神科救急、災害医療、それにへき地医療）を担っており、県民のみなさまの健康増進に24時間365日励んでおります。

さらに、当院は「臨床研修指定病院」に指定されており、全国公募の初期研修医をはじめ金沢大学や福井大学とのたすき掛け研修医、自治医科大学卒業生など毎年十数名の初期研修医が在籍され、2年間にわたり当院で研修に励んでいます。つまり、毎年30余名の初期研修医が研修しています。これは病院にとりましても、福井県全体の医療水準を保ち、地域を活性化する意味でも大きな役割を果たしています。

さらに、薬学生（薬剤師）実務研修の必須化や看護研修が追加されるなど、基幹病院での研修機能の充実が強く求められていました。その中で、この4月からこころの医療センター4階に、スキルラボ（実技修練室）2室、模擬病室2室、セミナー室3室、医師研修室4室など「地域医療研修センター」が完成しました。県立病院として、研修医のみならず薬剤師や看護師などの方々の研修にも力を注ぎ、長期的な視点でも地域医療に貢献する所存です。

福井県立病院長 山本 信一郎



〔地域医療研修センター（スキルラボ）〕

福井県立病院理念・基本方針

理念

私たちは、総合的かつ高度な医療の提供を通じて、県民に信頼され、心あたたまる病院をめざします。

基本方針

1. 心身ともに全人的な医療を提供します。
2. 質の高い医療、特殊・先駆的医療を提供します。
3. 安全管理を徹底し、患者様本位の医療を提供します。
4. 救命救急医療の充実を図ります。
5. 地域医療機関との連携に努めます。
6. 個人情報の適切な管理を行います。
7. 健全な経営に努めます。



「コンパス」には、

「円を描く道具」「方角を示す磁石」の2つの意味があります。

この広報誌が皆様と当院の輪（和）を描くものとなり、また皆様にとって有用な情報を提供することで、今後の皆様の健康の道しるべとなるよう願いを込めて名づけられました。

特集

検査室のご紹介

検査室は何をすることで？

医師は、病気を診断・治療するために患者さんを診察し、症状を確かめた後、臨床検査を行います。患者さんの症状は、尿、便あるいは血液や採取された臓器からいろいろな形で現れてきます。これらの症状のもととなる病気の原因を調べるのが臨床検査の重要な役割です。臨床検査の一番の目的は、医師の診断を確実にすることです。病気を見つけること、治療の方針や経過、病気が重いか軽いかの判断に用いられます。

この臨床検査は国家資格を持った臨床検査技師が行っています。当院では、コンピューターシステムにてリアルタイムで検査依頼から結果報告までを迅速かつ正確に処理しています。

検査室ではどのような検査が行われているの？

生理検査

患者さんに直接検査室まで来ていただき、心電図、脳波、聴力、肺活量、超音波などの検査を行っています。

病理・細胞診検査

内視鏡や手術によって採取された臓器の組織標本を作製し病理医が確定診断を行います。良性、悪性の診断だけでなく治療効果や予後などの判定に役立っています。



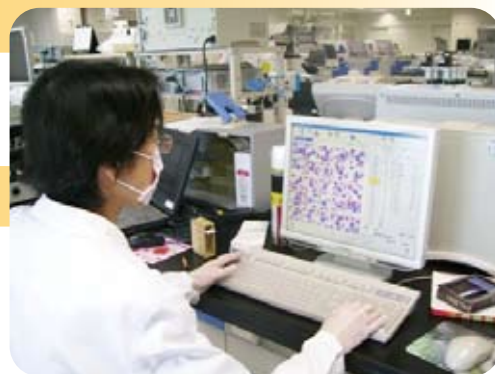
〔細菌検査の様子〕

一般検査

尿の糖や蛋白を測定、尿中に出現する細胞を検査しています。また、便の潜血反応、妊娠反応検査なども行っています。

血液検査

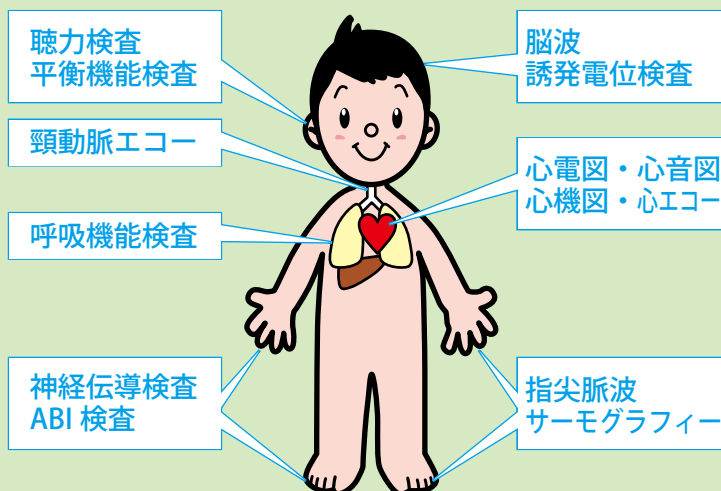
赤血球・白血球・血小板などの数を測定する血球算定、それらの細胞が異常かを顕微鏡で観察する血液像検査、また、血液が固まる時間を測定して病気を見つけたり、薬の管理をするための凝固検査や患者さんの骨髄から採取した骨髄液の検査も行っています。検査には、血液が固まらないように専用の採血管を使用しています。



〔血液検査の様子〕

生理検査（生理機能検査）とは

生きていくために必要な体（臓器）の機能や形状を調べる検査です。



細菌検査

感染症の原因となる大腸菌・結核菌などの微生物を検出し、治療に有効な薬を決定するために、顕微鏡検査・培養検査・薬剤感受性検査・インフルエンザ等の迅速検査を行っています。



〔輸血関連検査の様子〕

輸血関連検査

患者さんが安全に輸血を受けられるよう、血液型検査、不規則抗体スクリーニング、交差適合試験などの検査や、輸血用血液製剤の保管・管理を行っています。



〔生化学検査の様子〕

生化学・免疫検査

生化学検査は、たとえば肝臓が悪くなったら AST（以前は GOT と表示）、動脈硬化ならコレステロール、糖尿病なら血糖、腎臓病ならクレアチニンといった検査があり、腫瘍マーカーや感染症などの項目も含めてこの部門で約 60 項目を測定しています。



〔採血の様子〕

採血業務

1 階の中央採血室では、検査技師が小児科を除く全ての外来患者さんの検査のための採血を行っています。



当院は 3 次救急病院で、24 時間、重症の救急患者さんを受け入れています。検査室も 24 時間救急検査に対応しています。

病院からのお知らせ

患者さんの権利と責務について

当院では、患者さんに質の高い医療を安全に安心して受けていただくとともに、思いやりに満ちた心あたたまる医療が提供できるよう日々努めております。

患者さんには、最善な医療を円滑に受けて頂くために、次のような権利と責務がありますので、ご協力をお願い申し上げます。

患者さんの権利

- ① 良質な最善の医療を受けることができます。
- ② 医療従事者から十分な説明を受け、ご自身の意思で医療を選択することができます。
- ③ 病院を自由に選択し、また別の医師の意見を求めることができます。
- ④ ご自身の診療情報を得ることができます。
- ⑤ 個人情報を守られ、プライバシーは尊重されます。
- ⑥ 人間としての尊厳に配慮された医療を受けることができます。

患者さんの責務

- ⑦ ご自身の健康状態に関する情報を可能な限り正確に提供してください。
- ⑧ 治療に積極的に参加していただくとともに、治療に関する指示や助言を守ってください。
- ⑨ 医療行為の妨げ（暴言・暴力など）や他の患者さんの迷惑となる行為は慎んでください。
- ⑩ 病院内の設備や備品を大切にご使用いただくなど、病院の規則を守ってください。
- ⑪ 受けた医療に対しては、診療費をお支払いください。責務を守って頂けない場合は、当院での医療提供を受けられないこともあります。

お知らせ

心をひとつに - 元気と希望をあなたに届けます -

5月11日、看護の創立者であるナイチンゲール女史の生誕を記念して、「看護週間行事」を開催しました。



今年度は、看護師全員が鶴を折り、その鶴をモチーフにアーチや虹のオブジェを造ることで「心をひとつに」という想いを表現しました。多くの皆様にご参加いただきありがとうございました。



行事内容

- ★講演「救急医が語る放射線の話」
「知って得する認知症の介護と予防」
 - ★さわやかアンサンブルによるコンサート
 - ★ストラップ・ブレスレット作り
 - ★生花展
- 他



がん医療センター「市民公開講座」を開催しました

平成24年3月4日にアオッサの県民ホールで「～聞いておいて良かった～ からだに優しく きめ細かいがん治療をあなたに」というテーマで市民公開講座を開催しました。



陽子線がん治療センターの山本和高センター長からセンターの開設1年間の実績について説明を行った後、外科平能康充医長から消化器がん手術の最前線について、また、小山照代管理栄養士からがん治療の際の栄養管理について分かりやすくお話ししました。

ボランティアコンサートのお知らせ

当院の1階エントランスホールにおいて、不定期でボランティアによるコンサートを開催しております。7月は以下のとおり開催を予定しています。みなさまのお越しをお待ちしています。

日 時	内 容	演奏者等
平成24年7月25日(水) 13:30～	フラダンス	Kunie Sakai Hula Studio

新聞やテレビで、県の情報をキャッチ!

- 新聞 「県からのお知らせ」(毎月1日、15日に掲載)
- テレビ番組 「おはようふくい730」(FBC/日曜)
- 「ほっとふくい」(ftb/1・3土曜)
- 「まちかど県政」(FBC、ftb/日曜)
- 広報誌 「県政広報ふくい」(奇数月発行)

※ラジオやインターネットでも提供中。

お問い合わせ

県広報課

0776-20-0220



健康長寿の福井



発行 福井県立病院

福井市四ツ井2丁目8番1号 TEL:0776-54-5151 FAX:0776-57-2945



ホームページもご覧ください

<http://info.pref.fukui.jp/imu/fph/>